

0501074

経済

開講日：令和5年10月10日（火）

金融商品のしくみとリスク②

— 地球環境問題、日本政府の財政悪化と金融 —

受講料 (振込額)	12,500円			
必携テキスト	_____			
講座概要	曜 日	火曜日		日 程
	時 間	15:00～16:30		10月10・24日
	回 数	全5回	定 員	40名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F / 大教室		11月7・21日 12月5日
講 師	経済学者・慶応義塾大学名誉教授・元本学教授・ EY新日本有限責任監査法人社外評議員、東京地裁専門委員			
	深尾 光洋 (ふかお みつひろ)			
講 師	1951年7月	岐阜市に生まれる	〔主な著書・論文〕	
	1974年3月	京都大学工学部卒業	1983年「為替レートと金融市場」東洋経済新報社（日経経済図書文化賞受賞）	
講 師	4月	日本銀行入行	1990年「実践ゼミナール国際金融」東洋経済新報社	
	1978年9月	ミシガン大学経済学部博士課程に入学	1995年 Financial Integration, Corporate Governance, and the Performance of Multinational Companies, Brookings	
講 師	1981年5月	同大学Ph.D.取得	1997年「企業ガバナンス構造の国際比較」日本経済新聞社（森田泰子氏との共著）	
	1981年6月	日本銀行 金融研究局（現、金融研究所）	1998年「財政投融資の経済分析」日本経済新聞社（岩田一政氏との共編著）	
講 師	1983年8月	経済企画庁 調査局	1999年「コーポレート・ガバナンス入門」、ちくま新書	
	1985年9月	O.E.C.D.経済統計総局 金融財政政策課エコノミスト	2000年「ゼロ金利と日本経済」、日本経済新聞社（吉川洋氏との共編著）	
講 師	1987年9月	日本銀行 金融研究所調査役	2001年「日本破綻」、講談社現代新書	
	1989年7月	同 外国局調査役	2003年「検証銀行危機」、日本経済新聞社（日本経済研究センターとの共編著）	
講 師	1991年7月	O.E.C.D.経済局 通貨金融課シニア・エコノミスト	2003年「生保危機の真実」、東洋経済新報社（日本経済研究センターとの共編著）	
	1994年5月	日本銀行 調査統計局企画調査課長	2006年「中国経済のマクロ分析」、日本経済新聞社（編著）	
講 師	1996年5月	日本銀行調査統計局参事	2010年「国際金融論講義」、日本経済新聞出版社	
	1997年4月	慶應義塾大学商学部教授（～2017年3月）	2012年「財政破綻は回避できるか」、日本経済新聞出版社	
講 師	1999年4月	日本経済研究センター主任研究員（兼任）（～2010年3月）	2014年「金融財政システム危機の発生メカニズムと予防・対処方法」、澤田康幸編『巨大災害・リスクと経済』第7章、日本経済新聞出版社	
	2005年6月	日本経済研究センター理事長（兼任）（～2010年5月）	2018年 “Financial Market Efficiency: A Comparative Perspective,” in Dongchul Cho, Takatoshi Ito, and Andrew Mason ed., Economic Stagnation in Japan: Exploring the Causes and Remedies of Japanization, Edward Elgar Publishing.	
講 師	2011年7月	経済産業研究所プログラムディレクター（兼任）（～2016年3月）	2022年 “Is There a Trade-off between COVID-19 Control and Economic Activity?: Implications from the Phillips Curve Debate,” Asian Economic Policy Review, Volume 17, Issue 1, January.	
	2017年4月	武蔵野大学経済学部経済学科教授（～2022年3月）		
講 師	2019年8月	EY新日本有限責任監査法人社外評議員 監査委員長（現職、兼任）		
	2020年9月	東京地方裁判所 専門委員（現職、兼任）		
講 師	専 門：国際金融論、金融論、コーポレート・ガバナンス 審議会等：政策金融改革ワーキングチーム委員、地球温暖化問題に関する懇談会中期目標検討委員会委員(2008-09)、金融審議会専門委員（2000-11）			
	※内容は裏面をご覧ください。			

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World



武蔵野大学

響き合って、未来へ。



武蔵野大学社会響創センター

〒202-8585 東京都西東京市新町1-1-20

TEL: 042-468-3222

月～金（祝祭日除く） 9:30～16:30

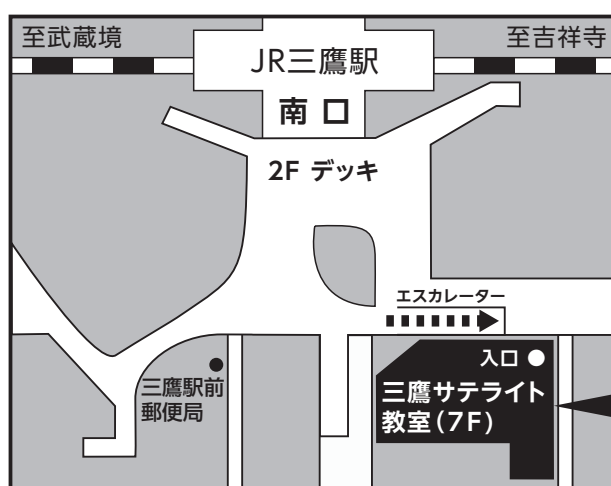
http://lls.musashino-u.ac.jp/

Q 武蔵野大学 生涯学習 検索



内 容	人類が化石燃料を大量に使用することで発生する二酸化炭素が地球環境の温暖化を進行させている。温暖化は、海面上昇による高潮リスクの増大、台風やハリケーンの強大化による風水害の深刻化、地面の水分の蒸発増加による広範な干ばつ化、森林火災の激化などを発生させている。こうした地球環境の変化は、不動産価格、火災・水害保険料の上昇、農業や漁業への悪影響などを通して、金融経済にも大きな影響を与える。 またコロナ対策、高齢化に伴う社会保障支出の増大などで、日本だけでなく、多くの主要国でも政府財政の悪化が進行している。これは、将来、政府信用の低下などにより、金融経済に大きな悪影響を与える可能性がある。今季の授業では、金融商品と金融システムの基礎を概説したあと、中長期的な観点から、地球環境や財政悪化が金融に与える影響を説明し、個人としてこうしたリスクにどのように対応できるかを考えてみたい。 ①10月10日：自己紹介、バブル経済の原因と銀行破綻 ②10月24日：アベノミクスと金融の量的緩和 ③11月 7日：金融危機、財政危機、通貨危機の発生メカニズム ④11月21日：金融財政システム危機の防止策 ⑤12月 5日：地球環境問題と金融システム
-----	---

武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR 三鷹駅 南口より徒歩1分
三鷹三菱ビル 7F
(三菱UFJ銀行のビル)
1F入口からお入りください

- 「受講の手引き」「新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのお願い」を必ずお読みの上、ご参加ください。
- 《徹底のお願い》
マスクは清潔な不織布で、鼻口を覆ってください。